

## 琵琶湖森林づくり県民税条例の趣旨（第1条）の考え方

滋賀の新たな森林づくりと費用負担のあり方について（森林づくりの費用負担を考える懇話会 提言（平成16年12月22日））

**新たな森林づくりと県民による費用負担（提言P10～P11）**

こうした視点から、これまでの森林所有者による木材生産を軸とした林業施策だけではなく、琵琶湖と森林との関係を重視し、水源かん養機能などの公益的機能が高度に発揮される森林づくりが必要です。例えば、…

また、県民は森林から多様な恩恵を享受していることから、…県民一人ひとりが滋賀の森林の価値や、森林整備の重要性について理解と関心を高め、主体的に森林づくりに参画し、それぞれの適切な役割分担による県民協働により森林づくりを進めていくことが必要であり、…

そこで、懇話会としては、環境重視の森林づくりや県民協働の森林づくりという施策は、…新たな視点に立った施策展開であり、その事業目的は水や空気といった広範な環境の維持・保全にあることや、こうした新たな取り組みを一步一步進めていくことで、森林の持つ公益的機能を高め、森林を健全な姿で未来へ引き継ぐこととなり、その効果は広く県民全体に及ぶものと考えます。

**使途の考え方（提言P12）**

**(ア) 環境を重視した森林づくりへの充当**

特に、琵琶湖と森林との関係について言えば、森林の適切な整備が琵琶湖の環境保全にとって極めて重要であることに鑑み、水源かん養などの機能が高度に発揮されるよう、手入れが進まず荒廃のおそれ強い森林について、針葉樹と広葉樹が混じり合う針広混合林化を進めることや、伐期の長期化を図るなど、環境を重視した森林づくりを推進することが必要と考えられます。

**(イ) 県民協働による森林づくりへの充当**

森林は水源かん養機能をはじめ様々な公益的な機能を有しており、…県民共通の大切な財産であると考えられます。

こうした森林の恵みを再確認し、県民一人ひとりが森林に対する理解と関心を深めることは、森林の持つ公益的機能の持続的発揮を図る上で重要な課題といえます。このため森林づくりに県民が主体的に参画し、その意見を反映できるとともに、自らも森林づくりに関わる協働による森林づくりを推進することが重要です。

**提言の内容を踏まえて**

新たな森林づくりのための（仮称）琵琶湖森林づくり県民税について（平成17年4月1日 公表）

**(2) 新たな費用負担の必要性（P3）**

…このため、荒廃した森林の解消はもとより、これ以上荒廃した森林が増加しないよう、森林の価値を再認識し、公益的機能がより高度に発揮される適切な森林整備を推進することが喫緊の課題であるため、環境重視と県民協働という新たな視点に立った施策を緊急かつ継続して推進していく必要があります。

→ 上記 (ア)・(イ)

新たな視点に立った施策の目的は、琵琶湖の水や空気といった広範な環境の維持・保全等であり、その事業効果は、広く県民全体に及ぶ公共性、公益性が極めて高いものと考えています。

したがって、こうした新たな森林づくりに必要な費用については、森林の持つ公益的機能から計り知れない恵みを享受している全ての県民が、共同して等しく負担していくことが必要と考えます。

**「琵琶湖森林づくり県民税条例」（平成18年4月1日施行）**

**（趣旨）**

第1条 この条例は、琵琶湖の水源かん養、県土の保全等すべての県民が享受している森林の有する公益的機能の重要性にかんがみ、県民の理解と協力の下、公益的機能が高度に発揮されるような森林づくりのための施策を推進し、滋賀の森林を健全な姿で未来に引き継いでいくことが必要であることから、当該施策に要する経費の財源を確保するため、琵琶湖森林づくり県民税として、県民税の均等割の税率について滋賀県税条例の特例を設け、これに必要な事項を定めるものとする。